

さかみち

のほ えがお ま
「さかみちを上げると、笑顔が待ってるよ」

白小だより

10月号 (No.6)

令和7年10月1日

「心を整える」力を培って・・・

2学期が始まって1ヶ月が経ちました。子どもたちは、日々の授業や学習参観、校外学習、陸上練習と一生懸命に取り組んでいます。その姿は、本当に心を成長させていると思います。心の成長をより高める一助として、先日の全校集会で次のことを伝えました。

「心を整える」とは、落ち着いて行動できるように自分を整えることです。「心を整える」と、学習も集中して取り組み、先生の話をよく聞けます。友達との関係もよくなり、よい判断ができることで行き違いやトラブルが少なくなります。家庭での時間の使い方も上手になります。この9月を振り返ってみると数々の「心を整える」ことをしました。生活・こころのアンケートで自分の気持ちを振り返ったり、演劇ワークショップで相手も自分も大切にすることをより考えたりしました。スクールカウンセラーの先生、スクールソーシャルワーカーの先生にも自分のことを聞いていただく時間も設けました。もちろん、日頃から白方小学校の先生方には、いつも話を聞いてもらっていることでしょう。先生方は、皆さんの強き味方です！

これからの生活の中で「心を整える」ことを意識することで、学校生活はさらに充実します。自分を幸せにします。そのことは、白方小学校の大切な言葉「感じる心 伝える気持ち」を大いに後押ししてくれます。そして「心を整える」数々の場面が、皆さんに一人一人にとっての竹の「節目」でもあります。



■第2回演劇ワークショップ「相手も自分も大切にする」心の育成を目指して

9月に四国学院大学の教授の方、学生の方による第2回演劇ワークショップを実施しました。

1・2・3年生は、個々の絵に全員が一筆描くことを通して、他を思いやるコミュニケーションを学びました。4・5・6年生は、前回の絵から物語をつくり演劇に挑戦することで、他と協力し合うコミュニケーションを学びました。一人一人相手のことを考えながら活動していく中で、「感じる心 伝える気持ち」をより一層意識することができたと思います。次は、11月の町研究授業にて4・5・6年生の第3回演劇ワークショップを行います。アサーション「相手も自分も大切にする」ことを演劇の体験を通して、より人権感覚を磨くことにつながればと思います。



9・10月の生活目標

本をたくさん読もう

(担当 放送委員会)



11月の主な行事内容

- ・香川県教育文化祭（ダンスの部）4～6年
- ・香小研教育研究会 6年算数科研究授業（5校時）
- ・多度津町人権・同和教育研究会
4～6年演劇ワークショップ（5校時）
- ・人権集会